

八戸市魚市場 販売委託手数料率

4.0%への引き上げ妥当

運営審議会、市長に答申



熊谷雄一市長(左)に答申書を手渡す田中哲会長(右)=29日、八戸市庁

八戸市魚市場で卸売業務を担う八戸魚市場(川村嘉朗社長)が求めた販売委託手数料率の引き上げについて、市から諮問を受けた市魚市場運営審議会(会長・

田中哲八戸学院大学長補佐)は29日、現行の3.0%から4.0%に引き上げることが妥当と判断し、熊谷雄一市長に答申した。市は答申内容を尊重して

判断通りに決定する意向。手数料率の変更には、地方卸売市場八戸市魚市場条例の改正が必要のため、12月予定の市議会定例会に条例改正案を提出する方針だ。

市庁で熊谷市長に答申書を手渡した田中会長は「今の流通の仕組みでは(八戸魚市場の卸売業務が)一番の肝になる」とし、「どのように支援、再建していくのか、これから真剣に考えるべきだ」と指摘した。

熊谷市長は「業界全体として卸売りの在り方を考えていかなければならない」との認識を示した。

一方、八戸魚市場が市に求めていた市場使用料率の引き下げに関し、審議会は

現行のまま据え置きとするのが妥当と答申した。「別途、経営支援策を講じるべき」との意見を付した。

(松原一茂)